

# SCL-WP1

## 取扱説明書



### はじめに

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みになり、十分に理解をした上でお使いください。また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。使用者の身体の状態・環境の変化に合わせて、必要なときに本書をお読みください。

### 目次

安全上のご注意	2
各部のなまえ	4
使いかた	5
電池について	
電池の入れかた	
電池の交換	
コントローラーの接続	5
接続のしかた	
外しかた	
体重計の設置(本体の開閉)	6
使用するとき	
収納するとき	
電源について	7
電源を入れる	
電源を切る	
測定する	8
測定のしかた	
使用者の体重を測定する (風袋引きメモリ機能)	
使用上のご注意	9
お手入れ・保管について	9
本体のお手入れ	
保管・収納について	
保守・点検	9
ロック部分の調整	
開閉の調整	
困ったときには	10
仕様	11
シリアルについて	11
保証書	裏表紙

本書で使用している画像・イラストは、ご購入いただいた製品と異なる場合があります。製品向上のため、本書に記載している仕様の全部、または一部を予告なく変更することがあります。

※本製品は家庭用はかりです。取引や証明用には使用できません。



# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書では、お使いになる人や他の人への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示の意味	 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
	 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。

記号の意味	 警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
	 禁止の行為であることを告げるものです。
	 行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

## 危険

	<b>本製品を段差乗り越えのための車いすスロープとして使用しない。</b> 本製品は、内部に精密機械を使用しています。段差乗り越えのスロープとして使用すると故障の原因となるばかりでなく、万一破損した場合、使用者や介助者の事故やけがにつながる恐れがあります。
	<b>本製品は水平で平らな床の上で使用する。</b> 傾斜や段差のある場所で使用すると、正しく測定されないだけでなく、本体が予期せぬ動きをするなど、事故や破損の原因となります。
	<b>車いすの使用者自ら操作する際は、自らの力量を過信せず、十分に注意する。</b> 本製品は、自走用車いすで自立操作ができる使用者向けにつくられています。はじめてお使いになる際は販売店やセラピストの指導のもと操作方法を習得し、本製品の特徴をよく理解したうえで使用してください。また、自らの操作に不安がある場合は、必ず介助者を伴ってください。

## ⚠ 警告

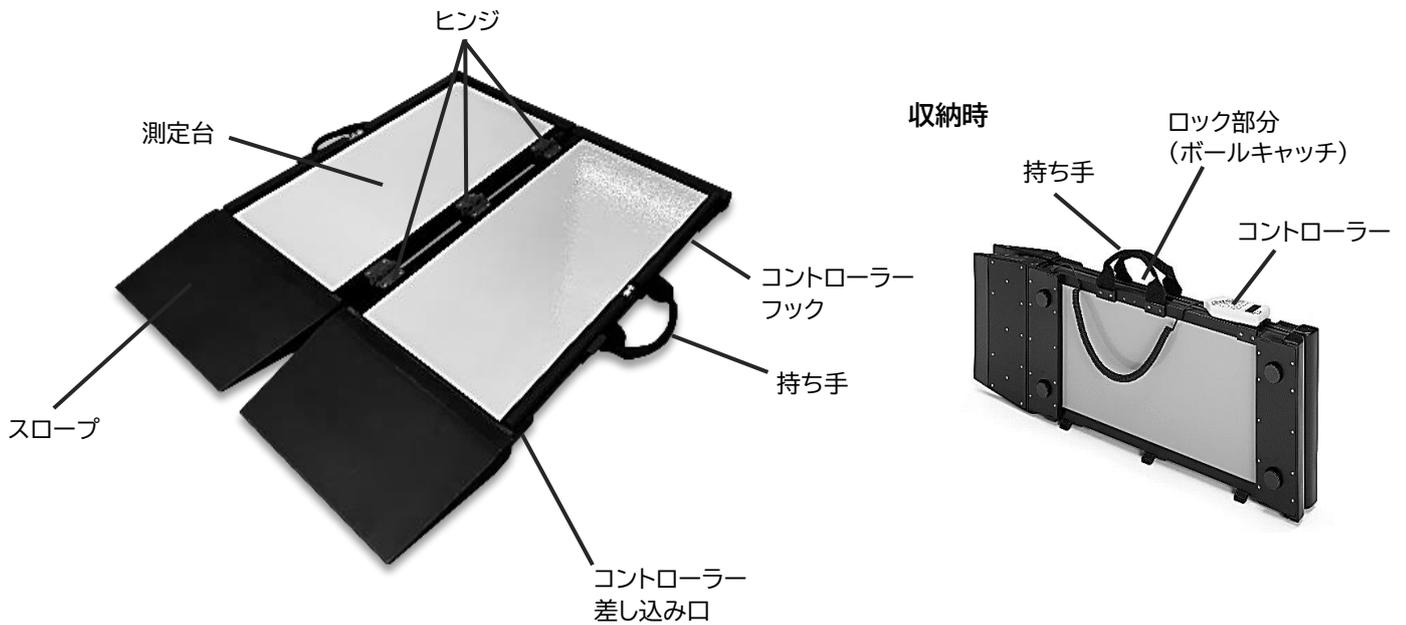
⊘	分解、改造を行わない。 製品の強度や耐久性が損なわれ、故障の原因となったり、事故やけがにつながる恐れがあります。
⊘	すき間などに手や指を入れたりしない。
⊘	水洗いしたり、水をかけたり濡らしたりしない。 故障や漏電の原因となります。
⊘	本体の上で飛んだり跳ねたりしない。 製品の故障の原因となります。
⊘	直射日光の当たる場所に置かない。
⊘	高温多湿の場所に保管、放置しない。
⊘	落下させたり、振動・衝撃を与えない。

## ⚠ 注意

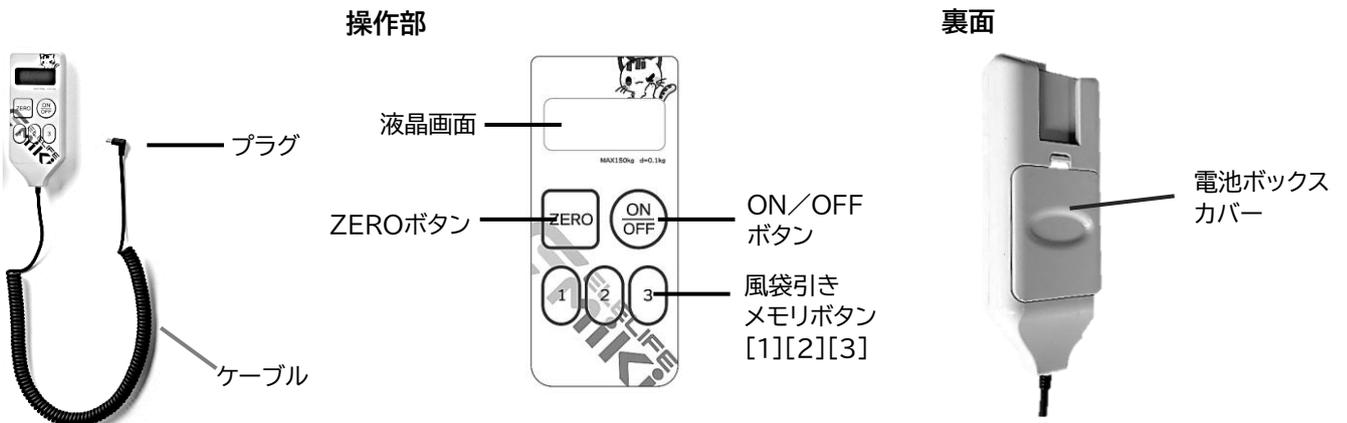
⊘	子供が触れやすい場所には放置しない。 事故やけがにつながる恐れがあります。
⊘	シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しない。 製品を傷める恐れがあります。
⊘	暖房器具に近づけない。 製品が変形したり、破損する場合があります。
⚠	本体に車いすを載せるときは、衝撃を与えないようにする。 測定時の乗り降りは、ゆっくりと静かに移動してください。
⊘	配線を引っ張らない 故障や漏電の原因となります。
⊘	指定された電池以外は使用しない。
⊘	広げるとき、折りたたむときは、手や指を挟まないように注意する。
⚠	持ち上げるとき、移動するとき、持ち手をしっかりと持つ。
⊘	車いす以外の物を載せない。
⚠	収納するとき、転倒しないよう、傾斜のない安定した場所で保管する。
⊘	コントローラーのプラグを他の機器に差し込んだりしない。 コントローラー以外のコードを本体に差し込んだりしない。

# 各部のなまえ

## 本 体



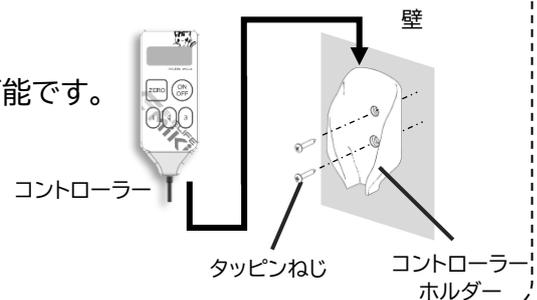
## コントローラー



## 付属品



コントローラーホルダーを壁に取り付けることで、コントローラーの壁掛け収納が可能です。



## 使いかた

### 電池について



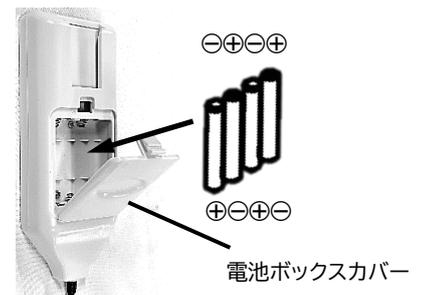
注意

- ・ 正しく電池を入れないと、正常に動作しないだけでなく、電池の液漏れや故障の原因となります。
- ・ 電池は+、-の向きを正しく合わせてください。
- ・ 電池を交換するときは、4本すべての電池を交換してください。
- ・ 違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。  
(例:アルカリ電池とマンガン電池と充電式電池)
- ・ 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池をショートさせたり、分解したりしないでください。
- ・ 電池を火の中に入れてください。
- ・ 電池を充電しないでください。(充電式電池は除く)
- ・ 長期間使用しない場合は、4本すべての電池を外してから保管してください。
- ・ 使用済みの電池は、最寄りの自治体の指示に従って廃棄してください。

### 電池の入れかた

使用電池 単4形乾電池 4本(別売)

- 1 コントローラー背面の電池ボックスカバーの爪を引っ掛けて取り外します。
- 2 新しい電池を+、-の表示に合わせて入れます。
- 3 爪の向きを合わせて、カバーを閉めます。



### 電池の交換

液晶画面に [LO BAT] と出たとき、電源スイッチを押しても起動しないときは、新しい電池に交換してください。

### コントローラーの接続

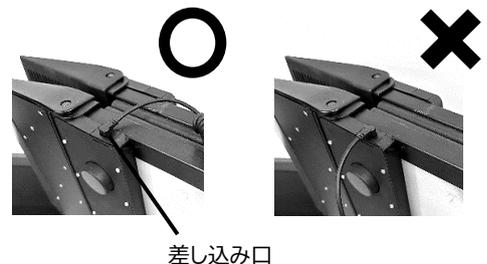
#### 接続のしかた

コントローラーのプラグを、本体の差し込み口に挿入します。



注意

- ・ プラグは正しい向きに差し込んでください。



差し込み口

#### 外しかた

プラグを持って、本体の差し込み口から引き抜きます。



警告

- ・ 外すときは、コードを持って引っばらないでください。

## 使いかた

### 体重計の設置(本体の開閉)



警告

- ・ 本製品は水平で平らな床の上で使用してください。傾斜や段差のある場所で使用すると、正しく測定されないだけでなく、本体が予期せぬ動きをするなど、事故や破損の原因となります。
- ・ 本体を設置する際、自らの操作に不安がある場合は、必ず介助者を伴ってください。

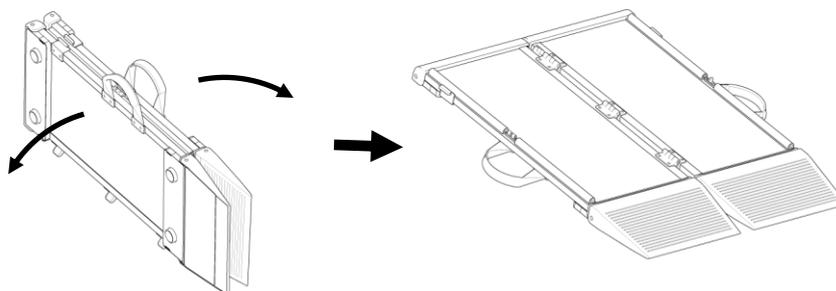


注意

- ・ じゅうたんや畳の上では、正しく測定されない場合があります。
- ・ 振動のある場所では、正しく測定されない場合があります。

### 使用するとき

- 1 持ち手を上にして、平らで水平な床の上に置きます。
- 2 コントローラーをフックから外します。
- 3 左右の持ち手を引っ張って、ロック部分(ボールキャッチ)を外します。
- 4 本体を広げます。



### 収納するとき

- 1 電源を切ります。
- 2 両端の持ち手を上に上げて、本体をたたんで閉じます。
- 3 両端から押さえて、ロック部分(ボールキャッチ)を固定します。
- 4 コントローラーをフックに差し込みます。

ロック部分



注意

- ・ 本体を収納するときは、転倒しないよう、傾斜のない安定した場所で保管してください。

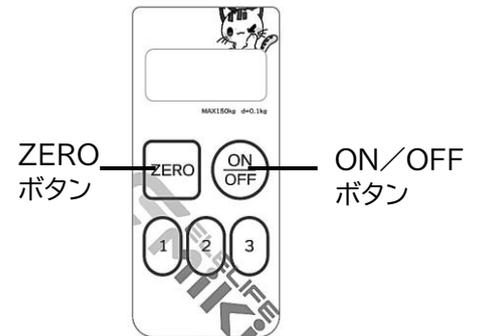
# 使いかた

## 電源について

### 電源を入れる

- 1 コントローラーが本体に接続されていることを確認します。
- 2 ON/OFFボタンを長押しします。(約2秒間)
- 3 電源が入ると、液晶画面に **0.0** と表示されます。

\* 表示が **0.0** 以外の数字が出る場合は、ZEROボタンを長押ししてください。



### 電源を切る

- 1 ON/OFFボタンを長押しします。(約2秒間)
- 2 液晶画面の表示が消えて、電源が切れます。

\* なにも操作しない状態が約5分間続くと、自動で電源が切れます。(オートパワーオフ)

# 使いかた

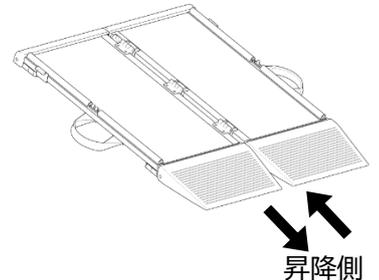
## 測定する

### 測定のしかた



危険

- ・ はじめてお使いになる際は販売店やセラピストの指導のもと操作方法を習得し、本製品の特徴をよく理解したうえで使用してください。また、自らの操作に不安がある場合は、必ず介助者を伴ってください。
- ・ 必ずのスロープのある昇降側から車いすを移動させてください。



**1** 測定台に何も載せていない状態で、電源を入れます。

**2** 車いすを移動させて、測定台に載ります。

**3** 車いすの駐車用ブレーキをかけて、静止します。(約3秒)

**4** 重量が確定すると、液晶画面が5回点滅して、数値が固定されます。  
(車いす+使用者の合計)

**5** 測定を終えたら、車いすを移動させて測定台から降ります。  
\*続けて測定する場合は、[ZERO]ボタンを長押しして、液晶画面を **0.0** に戻してください。

車いすの重量 15.0kg  
使用者の体重 63.0kgの場合

**78.0**

### 使用者の体重を測定する(風袋引きメモリ機能)

車いすの重量を登録することにより、車いす使用者の体重だけを測定することができます。  
最大3台の登録が可能です。

#### ● 車いすの重量を登録する

**1** 測定台に何も載せていない状態で、電源を入れます。

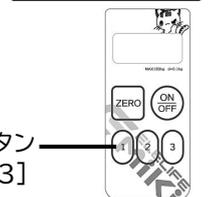
**2** 「測定のしかた」に従って、車いすだけを測定台に載せて、車いすの重量を測定します。

**3** 重量が確定(液晶画面が点滅)したら、風袋引きメモリボタン  
([1][2][3]のいずれか)を長押しします。(約2秒)

**4** 液晶画面が **0.0** と表示されます。これで車いすの重量登録が完了です。  
車いすを測定台から降ろします。  
\*続けて測定する場合は、[ZERO]ボタンを長押ししてください。

風袋引き  
メモリボタン  
[1][2][3]

**15.0**



**0.0**

#### ● 使用者の体重のみ測定する

**1** 「測定のしかた」に従って、車いすに乗車した状態で測定台に載ります。

**2** 重量が確定(液晶画面が点滅)したら、乗車している車いすの重量を登録した  
風袋引きメモリボタンを押します。

**3** 車いすの重量が差し引かれて、使用者の体重が表示されます。

**63.0**

## 使用上のご注意

### お手入れ・保管について

#### 本体のお手入れ

- ・ 本体・コントローラーの汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。拭き取った後は、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。
- ・ 水などがかかった場合は、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。



#### 注意

- ・ シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。
- ・ 本体や各部品を乾かすときは、直射日光をさけて陰干ししてください。

#### 保管・収納について

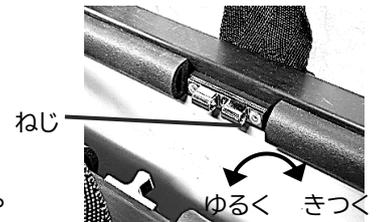
- ・ 本体はたたんだ状態で保管してください。
- ・ 長期間使用しない場合は、4本すべての電池を外してから保管してください。
- ・ 本体を収納するときは、転倒しないよう、傾斜のない安定した場所で保管してください。

### 保守・点検

#### ロック部分の調整

本体を閉じる際に締めにくいまたはロックが緩いときは、ロック部分(ボールキャッチ)の調整をしてください。  
使用する工具 マイナスドライバー

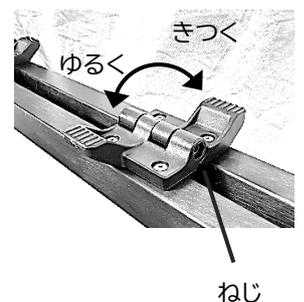
- ・ ボールキャッチ(メス側)の両サイドにあるねじをマイナスドライバーを回すことによって調節します。
- \* 少しずつねじを動かしながら、硬さを調整してください。  
調整しても改善しない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



#### 開閉の調整

本体の開閉時にかたつきがある場合は、ヒンジの調整をしてください。  
使用する工具 六角レンチ(3mm)

- ・ ジョイント部のねじを六角レンチで回すことによって調節します。
- \* 少しずつねじを動かしながら、硬さを調整してください。  
調整しても改善しない場合は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



## 困ったときには

本製品をご使用されていて「故障かな」と思われましたら、販売店へ連絡する前に、以下の項目を確認してください。

症状	確認点	対処のしかた
電源ボタンを押しても、液晶画面が表示されない。	電池が入っていますか。	電池を入れてください。
	電池の+、-の向きを間違えていませんか。	電池を正しい向きに入れ直してください。
	電池の残量が少なくなっていますか。	新しい電池に交換してください。
液晶画面のすべてが点滅する。	ケーブルが本体の差込口から抜けていませんか。	ケーブルを差し込んでください。
液晶画面の表示が薄くなったり、消えたりする。	電池の残量が少なくなっていますか。	新しい電池に交換してください。
	ケーブルが本体の差し込み口から抜けかかっていますか。	ケーブルを差し込んでください。
測定時、液晶画面の数値が固定されない。	測定中に車いすが動いていませんか。	車いすを静止させてください。
計測中、液晶画面が <b>+150.0</b> のまま点滅する。	最大ひょう量を超えていませんか。	本製品の最大ひょう量は150kgです。
本体を閉じた際に、締めにくい。またはすぐに外れそうになる。	ロック部分が締めすぎたり、緩んだりしていませんか。	ロック部分を調節してください。

## 仕様

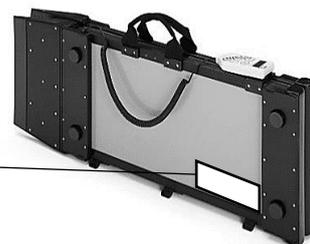
### 車いす用体重計 くるタイ△

型式	SCL-WP1
はかりの種類 用途	家庭用はかり
外形寸法 (長さ×幅×厚み:mm)	950×730×65(展開時) 950×375×125(折りたたみ時) (コントローラー含まず)
計測部寸法 (長さ×幅:mm)	660×70~650
質量	本体 6.4kg コントローラー 0.2kg(電池を含まず)
計量範囲	最大測定 150kg (車いす重量を含む) 最小測定 1kg
目量	0.5kg単位
計量精度	1kgこえて 75kgまで: ±1.0kg 75kgこえて 150kgまで: ±1.5kg
機能	風袋引き (メモリ3個)
電源	単4乾電池×4本(別売)
消費電力	約20mA
オートパワーオフ	約5分(無操作の状態)
使用温度範囲	0℃~40℃(結露しないこと)

#### シリアルについて

本製品の製造年は、シリアルNo.シールの左から3番目、4番目のアルファベットから知ることができます。

**E J B D 210000**



\* 左から3番目が西暦の2桁目。4番目が1桁目を表します。  
BD=2024年 BE=2025年 BF=2026年 ...

\* シリアルNoシールは梱包箱、本体、保証書に貼り付けられています。  
本体ならびに保証書のシリアルNo.シールは絶対にはがさないでください。  
はがすと保証の対象外になります。

# 保証書

品番

SCL-WP1

シリアルNo.

## 保証の範囲

- ・取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常や故障が発生した場合、無償修理をいたします。
- ・本製品の保証期間はご購入日より1ヶ年です。
- ・次の場合は保証期間中でも有償修理といたします。
  - 1)使用上の誤り及び取扱不注意による破損  
落下など、外部からの衝撃による破損・故障
  - 2)地震、台風、水害などの天災及び事故、火災による焼失・破損
  - 3)保全上の不備および弊社以外で行った修理や改造による破損
  - 4)弊社が指定する純正部品以外の部品等の使用により発生した破損
  - 5)保証書にお買い上げ日、販売店名の記載・捺印がない場合
  - 6)本体ならびに保証書にシリアルNo.シールが貼られていない場合
  - 7)保証書のご提示がない場合
  - 8)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合
- ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This guarantee is valid only within Japan.
- ・この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## サービスのご用命

- ・保証期間中、万一故障が生じた場合はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

## ご注意

- ・保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

ご購入日	年 月 日	(販売店)
ご住所	〒	住所
_____		〒
お名前		店名
_____		
TEL		TEL
_____		

※お買い上げ日、販売店名の記載・捺印のない場合は無効となります。

製造元

 Wheel Chair  
**Miki** 株式会社 ミキ

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号  
TEL 0570-00-3993 FAX 0568-66-6335

2405-M01-SCL